



投資・財政計画(収支計画)について

令和2年度 第5回 久御山町上下水道事業経営審議会
令和3年3月17日(水)10:00～

久御山町 事業建設部 上下水道課

【目次】

1	前提条件について	2
---	----------	---

2	投資計画について	7
---	----------	---

3	負担のあり方について	24
---	------------	----

1 前提条件について

(1) 収益的収支の前提条件(1/2)

収入項目		前提条件	
収益的収入	営業収益	使用料収入	用途別(家事用、営業用、工場用、その他用)の将来の有収水量の推計値に、用途別の過去の使用料単価平均値を乗じて算出 (下水道ビジョン(案)の「第4章 将来の事業環境」における使用料収入の推計値より)
		その他	過年度の実績値(H29～R1)を踏まえて設定
	営業外収益	他会計補助金	総務省の定める繰出基準に基づき、一般会計が負担すべき経費について過去の実績値等を踏まえて設定
		長期前受金戻入	既存の固定資産に係る長期前受金戻入に、今後取得する固定資産に係る長期前受金戻入を加えて算出
		その他	過年度の実績値(H29～R1)を踏まえて設定

(1) 収益的収支の前提条件(2/2)

支出項目		前提条件		
収益的支出	営業費用	職員給与費	過年度の実績値(H29～R1)を踏まえて設定	
		経費	修繕費	過年度の実績値(H29～R1)及び今後追加的に発生すると見込まれる修繕費を踏まえて設定
			委託料	過年度の実績値(H29～R1)及び今後追加的に発生すると見込まれる委託料を踏まえて設定
			下水道維持管理負担金	【木津川流域下水道】 京都府策定の「京都府流域下水道事業経営戦略(令和3年度～令和12年度)」の木津川流域下水道の維持管理等に係る市町負担金を基に、本町の負担額を算出 【京都市公共下水道、川北排水機場】 過年度の実績値(H29～R1)を踏まえて設定
			その他負担金	過年度の実績値(H29～R1)及び今後追加的に発生すると見込まれる経費を踏まえて設定 (主な支出の内容は、水道事業に対する業務負担金(人件費、物件費、事務経費等))
			その他	過年度の実績値(H29～R1)を踏まえて設定
	減価償却費	既存の固定資産に係る減価償却費に、今後取得する固定資産に係る減価償却費を加えて算出		
営業外費用	支払利息	【既発債】 年度別償還予定額を基に算出 【新発債】 償還期間30年(据置期間なし、半年賦元利均等償還)、利率1%で算出		
	その他	過年度の実績値(H29～R1)を踏まえて設定		

(2) 資本的収支の前提条件(1/2)

収入項目		前提条件
資本的収入	企業債	<p>【公共下水道事業】 本町の公共下水道事業に係る投資計画に基づき算出 ((事業費-国費) × 起債充当率(起債充当率は変数)) 本資料の収支計画における起債対象は管渠工事とし、起債充当率は50%と設定</p> <p>【木津川流域下水道建設負担金】 木津川流域下水道の建設負担金の財源をすべて企業債(起債充当率100%)として算出</p>
	他会計出資金	本資料の収支計画では、一般会計からの基準外繰入を見込んでいない
	他会計補助金	総務省の定める繰出基準に基づき、一般会計が負担すべき将来の元金償還額に相当する額を算出
	国・府補助金	本町の公共下水道事業に係る投資計画に基づき、現行の制度が維持されるものとして国庫補助金の金額を算出

(2) 資本的収支の前提条件(2/2)

支出項目		前提条件
資本的支出	建設改良費	<p>【公共下水道事業】 本町の公共下水道事業に係る投資計画に基づき設定</p> <p>【木津川流域下水道建設負担金】 京都府策定の「京都府流域下水道事業経営戦略(令和3年度～令和12年度)」の木津川流域下水道の建設負担金に係る市町負担金を基に、本町の負担額を算出</p>
	企業債償還金	<p>【既発債】 年度別償還予定額を基に算出</p> <p>【新発債】 償還期間30年(据置期間なし、半年賦元利均等償還)、利率1%で算出</p>

2 投資計画について

(1) 公共下水道事業の投資計画(1/3)

下水道ビジョンの計画期間において、2つの投資計画を検討しています。
投資計画(案)は、投資計画(案)に追加的に実施する工事を併せた計画です。

投資計画(案)

項目	投資計画の概要	投資の財源(案)
ポンプ更新工事	マンホールポンプ及び真空ポンプについて、法定耐用年数の15年毎に更新を実施	自己資金
管更生工事	令和4年から8年度までは、現在、併行して策定を進めている「久御山町公共下水道修繕・改築計画」に基づく工事を実施 令和9年度以降は、「久御山町下水道ストックマネジメント実施方針(汚水)(平成31年3月策定)」に基づき、投資額約1.7億円/年、改築延長約1.7km/年の工事を実施	国庫補助金 企業債 自己資金
人孔鉄蓋更新工事	令和4年から8年度までは、「久御山町公共下水道修繕・改築計画」に基づく工事を実施し、令和9年度以降は、同計画の令和5年から8年度と同程度の工事を実施予定	国庫補助金 自己資金
下水道台帳システム更新	システムのハードウェア等について、法定耐用年数の5年毎に更新を実施	自己資金
設計・調査・計画策定業務	管更生工事の実施設計や管路施設のカメラ調査、修繕・改築計画の策定等を実施	国庫補助金 自己資金

投資計画(案)

追加項目	投資計画の概要	投資の財源(案)
未普及区域管渠敷設工事	下水道管渠が整備されていない区域に、下水道管渠の敷設工事を実施	国庫補助金 企業債 自己資金

(1) 公共下水道事業の投資計画(2/3)

下水道ビジョン計画期間における投資計画の事業費の推移

単位:千円

項目	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)	R7年度 (計画)	R8年度 (計画)	R9年度 (計画)	R10年度 (計画)	R11年度 (計画)	R12年度 (計画)	R13年度 (計画)	合計
ポンプ更新工事	5,500			5,500	11,000		1,500				23,500
管更生工事	20,910	13,312	12,476	18,857	18,922	172,000	172,000	172,000	172,000	172,000	944,477
人孔鉄蓋更新工事	14,620	14,190	14,190	14,190	14,190	14,190	14,190	14,190	14,190	14,190	142,330
下水道台帳システムの更新			1,500					1,500			3,000
設計・調査・計画策定業務	9,000	9,000	18,163	27,290	34,090	19,700	19,700	19,700	19,700	34,090	210,433
事務費	5,003	3,650	4,633	6,584	7,820	20,589	20,739	20,739	20,589	22,028	132,374
消費税	7,671	7,671	7,671	7,671	7,671	7,671	7,671	7,671	7,671	7,671	76,710
小計	62,704	47,823	58,633	80,092	93,693	234,150	235,800	235,800	234,150	249,979	1,532,824
未普及区域管渠敷設工事		70,000	39,950								109,950
消費税		7,000	3,995								10,995
合計	62,704	124,823	102,578	80,092	93,693	234,150	235,800	235,800	234,150	249,979	1,653,769



...投資計画(案)の事業費総額



...投資計画(案)の事業費総額

(1) 公共下水道事業の投資計画(3/3)

投資計画(案)で計画している未普及区域管渠敷設工事の概要は、以下のとおりです。

未普及区域管渠敷設工事の概要

対象	工事の概要			未普及区域の現状			使用料収入 見込み
	施工 予定年度	管渠 敷設延長	事業費	対象建物	処理状況	対象人口	
未普及区域 その1	令和5年度	374.0m	73,950千円	家 屋 : 1	合併浄化槽 : 1 単独浄化槽 : 0 くみ取り : 0	4人	97 千円/年
				事業所等 : 5	合併浄化槽 : 2 単独浄化槽 : 0 くみ取り : 3		
未普及区域 その2	令和6年度	86.0m	36,000千円	家 屋 : 1	合併浄化槽 : 0 単独浄化槽 : 1 くみ取り : 0	4人	28 千円/年
				事業所等 : 0	合併浄化槽 : 0 単独浄化槽 : 0 くみ取り : 0		

(2) 収支計画のシミュレーション結果(案) (1/2)

収益的収支(案)

(単位：千円)

収益的収支(税抜)		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (予定予算)	R3年度 (予定予算)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)	R7年度 (計画)	R8年度 (計画)	R9年度 (計画)	R10年度 (計画)	R11年度 (計画)	R12年度 (計画)	R13年度 (計画)
収益的 収入	営業収益	525,748	476,923	511,852	510,306	518,917	516,697	515,446	513,722	512,144	510,353	508,848	506,738	504,903	503,066	501,401
	使用料収入	525,097	475,108	509,624	508,165	516,691	515,132	513,881	512,157	510,579	508,788	507,283	505,173	503,338	501,501	499,836
	その他の	651	1,815	2,228	2,141	2,226	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565
	営業外収益	239,879	240,630	227,695	230,199	228,198	226,510	227,096	227,862	228,489	228,971	229,798	231,471	232,906	234,283	234,025
	他会計補助金	17,471	15,216	13,098	15,452	13,527	11,394	11,383	11,496	11,676	11,785	11,872	11,912	12,023	12,160	12,273
	長期前受金戻入	222,085	224,938	214,219	214,558	214,658	214,724	215,321	215,974	216,421	216,794	217,534	219,167	220,491	221,731	221,360
その他の	323	476	378	189	13	392	392	392	392	392	392	392	392	392	392	
収入計(A)		765,627	717,553	739,547	740,505	747,115	743,207	742,542	741,584	740,633	739,324	738,646	738,209	737,809	737,349	735,426
収益的 支出	営業費用	625,489	648,644	649,966	616,591	683,104	620,295	633,188	634,319	637,408	652,398	643,292	659,500	672,126	669,047	683,301
	職員給与費	22,296	22,680	23,344	25,018	25,336	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773
	経費	246,474	265,612	274,195	236,455	300,012	237,621	247,727	246,170	246,344	258,740	246,237	257,904	266,760	259,188	272,069
	修繕費	7,502	5,529	7,108	10,150	10,275	9,942	9,276	7,520	7,283	5,346	5,689	9,329	5,689	9,329	9,329
	委託料	10,279	10,466	25,202	20,023	31,705	12,425	12,425	12,425	12,425	20,425	12,425	12,425	24,425	12,425	20,425
	下水道維持管理負担金	191,571	201,758	204,860	165,321	211,442	177,181	187,953	188,152	188,563	189,296	190,050	198,077	198,573	199,361	198,642
	その他負担金	30,466	32,083	31,803	33,332	38,709	31,451	31,451	31,451	31,451	37,051	31,451	31,451	31,451	31,451	37,051
	その他の	6,656	15,776	5,222	7,629	7,881	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622
	減価償却費	356,719	360,352	352,427	355,118	357,756	359,901	362,688	365,376	368,291	370,885	374,282	378,823	382,593	387,086	388,459
	営業外費用	80,634	71,272	61,563	54,815	47,664	40,393	35,668	31,598	28,269	25,306	22,750	21,055	19,773	18,781	17,945
支払利息	80,172	70,245	60,979	53,153	46,093	39,702	34,977	30,907	27,578	24,615	22,059	20,364	19,082	18,090	17,254	
その他の	462	1,027	584	1,662	1,571	691	691	691	691	691	691	691	691	691	691	
支出計(B)		706,123	719,916	711,529	671,406	730,768	660,688	668,856	665,917	665,677	677,704	666,042	680,555	691,899	687,828	701,246
経常損益(A)-(B)(C)		59,504	2,363	28,018	69,099	16,347	82,519	73,686	75,667	74,956	61,620	72,604	57,654	45,910	49,521	34,180
特別利益(D)		14,188	721	767	749	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失(E)		12,280	347	418	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期純利益(は純損失) (C)+(D)-(E)		61,412	1,989	28,367	69,848	16,347	82,519	73,686	75,667	74,956	61,620	72,604	57,654	45,910	49,521	34,180

(2) 収支計画のシミュレーション結果(案) (2/2)

資本的収支(案)

(単位：千円)

資本的収支(税込)		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (予定予算)	R3年度 (予定予算)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)	R7年度 (計画)	R8年度 (計画)	R9年度 (計画)	R10年度 (計画)	R11年度 (計画)	R12年度 (計画)	R13年度 (計画)
資本的 収入	企業債	20,000	36,800	61,400	67,300	82,200	60,100	60,900	80,900	65,000	63,000	112,900	132,700	140,900	136,400	78,800
	他会計出資金	153,983	150,346	161,502	84,869	92,656	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他会計補助金	29,983	26,812	23,043	18,690	14,470	11,222	8,409	9,041	10,005	10,802	11,570	12,238	12,966	13,793	14,143
	国・府補助金	5,000	16,000	14,000	2,144	8,000	17,600	13,200	12,650	14,850	22,550	67,100	67,100	67,100	67,100	72,050
	計(F)	208,966	229,958	259,945	173,003	197,326	88,922	82,509	102,591	89,855	96,352	191,570	212,038	220,966	217,293	164,993
資本的 支出	建設改良費	65,020	92,672	121,716	95,252	122,378	115,758	103,650	133,318	138,664	149,180	279,994	301,422	309,665	303,457	261,757
	流域下水道建設負担金	13,762	18,319	49,527	67,427	82,295	53,054	55,827	74,685	58,572	55,487	45,844	65,622	73,865	69,307	11,778
	公共下水道事業費	51,258	74,353	72,189	27,825	40,083	62,704	47,823	58,633	80,092	93,693	234,150	235,800	235,800	234,150	249,979
	企業債償還金	284,446	277,330	267,895	253,480	238,441	225,405	213,623	202,902	191,751	179,504	164,810	155,841	146,695	137,934	131,072
	計(G)	349,466	370,002	389,611	348,732	360,819	341,163	317,273	336,220	330,415	328,684	444,804	457,263	456,360	441,391	392,829
資本的収入が資本的支出に不足する額 (G) - (F) (H)		140,500	140,044	129,666	175,729	163,493	252,241	234,764	233,629	240,560	232,332	253,234	245,225	235,394	224,098	227,836

資金残高・企業債残高(案)

(単位：千円)

貸借対照表(年度末残高)		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (予定予算)	R3年度 (予定予算)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)	R7年度 (計画)	R8年度 (計画)	R9年度 (計画)	R10年度 (計画)	R11年度 (計画)	R12年度 (計画)	R13年度 (計画)
資金残高		164,037	138,443	181,102	213,744	233,655	216,775	210,138	211,335	207,552	201,064	195,086	186,961	180,043	190,634	179,588
資金残高の増減額		-	25,594	42,659	32,642	19,911	16,880	6,637	1,197	3,783	6,488	5,978	8,125	6,918	10,591	11,046
企業債残高		3,028,594	2,788,064	2,581,569	2,400,389	2,244,148	2,078,843	1,926,120	1,804,118	1,677,367	1,560,863	1,508,953	1,485,812	1,480,017	1,478,483	1,426,211

(3) 収支計画のシミュレーション結果(案) (1/2)

収益的収支(案)

(単位：千円)

収益的収支(税抜)		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (予定予算)	R3年度 (予定予算)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)	R7年度 (計画)	R8年度 (計画)	R9年度 (計画)	R10年度 (計画)	R11年度 (計画)	R12年度 (計画)	R13年度 (計画)
収益的収入	営業収益	525,748	476,923	511,852	510,306	518,917	516,697	515,446	513,722	512,144	510,353	508,848	506,738	504,903	503,066	501,401
	使用料収入	525,097	475,108	509,624	508,165	516,691	515,132	513,881	512,157	510,579	508,788	507,283	505,173	503,338	501,501	499,836
	その他の	651	1,815	2,228	2,141	2,226	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565	1,565
	営業外収益	239,879	240,630	227,695	230,199	228,198	226,510	227,096	228,263	228,986	229,469	230,296	231,968	233,404	234,782	234,524
	他会計補助金	17,471	15,216	13,098	15,452	13,527	11,394	11,383	11,496	11,676	11,785	11,872	11,912	12,023	12,160	12,273
	長期前受金戻入	222,085	224,938	214,219	214,558	214,658	214,724	215,321	216,375	216,918	217,292	218,032	219,664	220,989	222,230	221,859
その他の	323	476	378	189	13	392	392	392	392	392	392	392	392	392	392	
収入計(A)		765,627	717,553	739,547	740,505	747,115	743,207	742,542	741,985	741,130	739,822	739,144	738,706	738,307	737,848	735,925
収益的支出	営業費用	625,489	648,644	649,966	616,591	683,104	620,295	633,188	635,496	639,549	654,539	645,433	661,641	674,267	671,204	685,463
	職員給与費	22,296	22,680	23,344	25,018	25,336	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773	22,773
	経費	246,474	265,612	274,195	236,455	300,012	237,621	247,727	246,170	246,344	258,740	246,237	257,904	266,760	259,188	272,069
	修繕費	7,502	5,529	7,108	10,150	10,275	9,942	9,276	7,520	7,283	5,346	5,689	9,329	5,689	9,329	9,329
	委託料	10,279	10,466	25,202	20,023	31,705	12,425	12,425	12,425	12,425	20,425	12,425	12,425	24,425	12,425	20,425
	下水道維持管理負担金	191,571	201,758	204,860	165,321	211,442	177,181	187,953	188,152	188,563	189,296	190,050	198,077	198,573	199,361	198,642
	その他負担金	30,466	32,083	31,803	33,332	38,709	31,451	31,451	31,451	31,451	37,051	31,451	31,451	31,451	31,451	37,051
	その他の	6,656	15,776	5,222	7,629	7,881	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622	6,622
	減価償却費	356,719	360,352	352,427	355,118	357,756	359,901	362,688	366,553	370,432	373,026	376,423	380,964	384,734	389,243	390,621
	営業外費用	80,634	71,272	61,563	54,815	47,664	40,393	35,668	31,881	28,742	25,766	23,196	21,486	20,190	19,184	18,333
支払利息	80,172	70,245	60,979	53,153	46,093	39,702	34,977	31,190	28,051	25,075	22,505	20,795	19,499	18,493	17,642	
その他の	462	1,027	584	1,662	1,571	691	691	691	691	691	691	691	691	691	691	
支出計(B)		706,123	719,916	711,529	671,406	730,768	660,688	668,856	667,377	668,291	680,305	668,629	683,127	694,457	690,388	703,796
経常損益(A)-(B)(C)		59,504	2,363	28,018	69,099	16,347	82,519	73,686	74,608	72,839	59,517	70,515	55,579	43,850	47,460	32,129
特別利益(D)		14,188	721	767	749	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失(E)		12,280	347	418	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期純利益(は純損失) (C)+(D)-(E)		61,412	1,989	28,367	69,848	16,347	82,519	73,686	74,608	72,839	59,517	70,515	55,579	43,850	47,460	32,129

(3) 収支計画のシミュレーション結果(案) (2/2)

資本的収支(案)

(単位：千円)

資本的収支(税込)		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (予定予算)	R3年度 (予定予算)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)	R7年度 (計画)	R8年度 (計画)	R9年度 (計画)	R10年度 (計画)	R11年度 (計画)	R12年度 (計画)	R13年度 (計画)
資本的収入	企業債	20,000	36,800	61,400	67,300	82,200	60,100	89,700	100,700	65,000	63,000	112,900	132,700	140,900	136,400	78,800
	他会計出資金	153,983	150,346	161,502	84,869	92,656	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他会計補助金	29,983	26,812	23,043	18,690	14,470	11,222	8,409	9,041	10,005	10,802	11,570	12,238	12,966	13,793	14,143
	国・府補助金	5,000	16,000	14,000	2,144	8,000	17,600	32,450	12,650	14,850	22,550	67,100	67,100	67,100	67,100	72,050
計 (F)		208,966	229,958	259,945	173,003	197,326	88,922	130,559	122,391	89,855	96,352	191,570	212,038	220,966	217,293	164,993
資本的支出	建設改良費	65,020	92,672	121,716	95,252	122,378	115,758	180,650	177,263	138,664	149,180	279,994	301,422	309,665	303,457	261,757
	流域下水道建設負担金	13,762	18,319	49,527	67,427	82,295	53,054	55,827	74,685	58,572	55,487	45,844	65,622	73,865	69,307	11,778
	公共下水道事業費	51,258	74,353	72,189	27,825	40,083	62,704	124,823	102,578	80,092	93,693	234,150	235,800	235,800	234,150	249,979
	企業債償還金	284,446	277,330	267,895	253,480	238,441	225,405	213,623	203,729	193,156	180,923	166,243	157,289	148,157	139,411	132,563
計 (G)		349,466	370,002	389,611	348,732	360,819	341,163	394,273	380,992	331,820	330,103	446,237	458,711	457,822	442,868	394,320
資本的収入が資本的支出に不足する額 (G) - (F) (H)		140,500	140,044	129,666	175,729	163,493	252,241	263,714	258,601	241,965	233,751	254,667	246,673	236,856	225,575	229,327

資金残高・企業債残高(案)

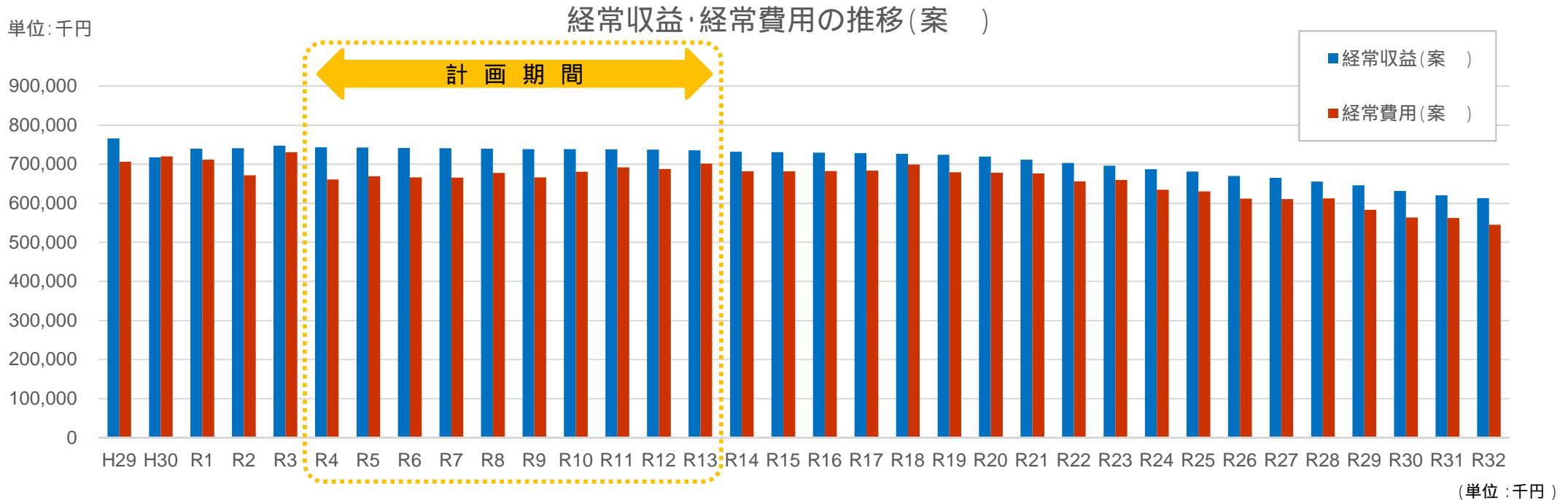
(単位：千円)

貸借対照表(年度末残高)		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (予定予算)	R3年度 (予定予算)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)	R7年度 (計画)	R8年度 (計画)	R9年度 (計画)	R10年度 (計画)	R11年度 (計画)	R12年度 (計画)	R13年度 (計画)
資金残高		164,037	138,443	181,102	213,744	233,655	216,775	186,438	166,375	160,714	152,347	144,490	134,486	125,689	134,400	121,475
資金残高の増減額		-	25,594	42,659	32,642	19,911	16,880	30,337	20,063	5,661	8,367	7,857	10,004	8,797	8,711	12,925
企業債残高		3,028,594	2,788,064	2,581,569	2,400,389	2,244,148	2,078,843	1,954,920	1,851,891	1,723,735	1,605,812	1,552,469	1,527,880	1,520,623	1,517,612	1,463,849

(4) 経営指標の推移 (1/9)

計画期間中は、主に家事用の使用料収入の減少に伴い、経常収益は緩やかに減少する見込みです。一方で、経常費用は、固定的費用の構成割合が高いことなどから、一定で推移する見込みです。

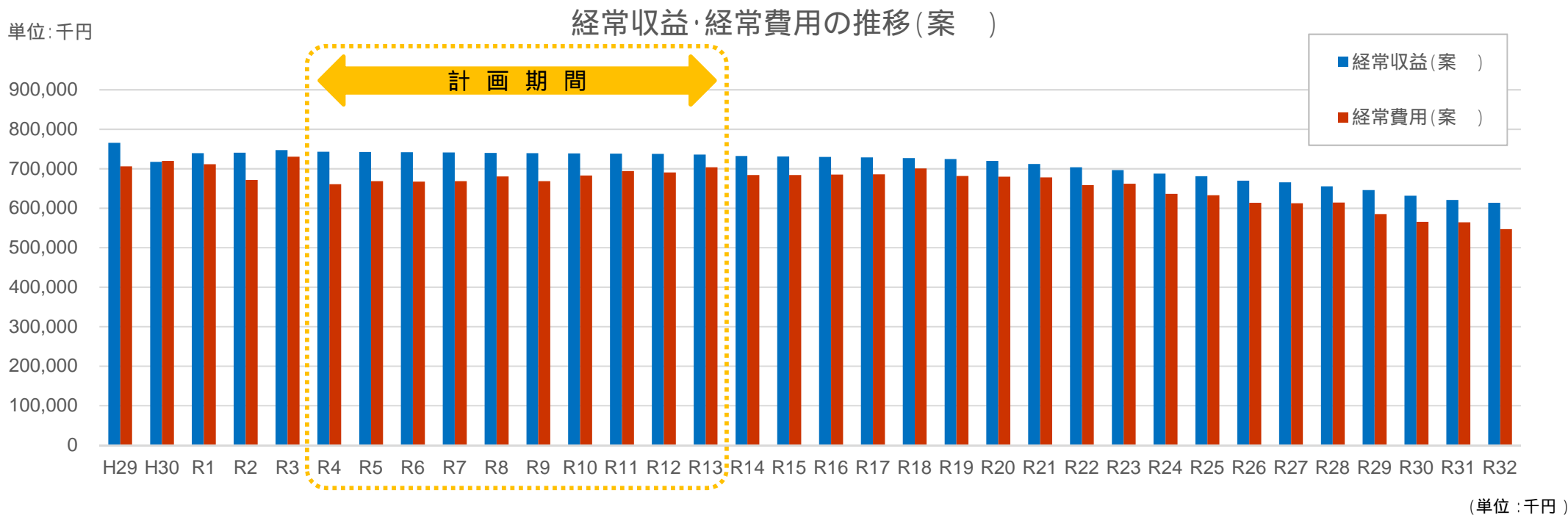
R19年度以降は、整備を集中的に実施した期間の下水道管渠の減価償却が、順次、完了し始めることに伴い（標準耐用年数：50年）、経常費用は年々減少し、また、その一部財源として長期前受金を充てているため、経常収益も減少する見込みです。



	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
経常収益(案)	765,627	717,553	739,547	740,505	747,115	743,207	742,542	741,584	740,633	739,324	738,646	738,209	737,809	737,349	735,426	731,961	730,756
経常費用(案)	706,123	719,916	711,529	671,406	730,768	660,688	668,856	665,917	665,677	677,704	666,042	680,555	691,899	687,828	701,246	681,556	681,788
経常損益	59,504	2,363	28,018	69,099	16,347	82,519	73,686	75,667	74,956	61,620	72,604	57,654	45,910	49,521	34,180	50,405	48,968
	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
経常収益(案)	729,248	728,105	726,274	723,909	719,061	711,462	703,042	695,987	686,945	680,851	669,463	664,911	655,249	645,757	631,333	620,391	613,222
経常費用(案)	682,470	683,239	698,765	679,416	677,942	676,116	656,038	659,628	634,308	630,641	611,902	610,575	612,429	583,040	563,383	562,183	544,973
経常損益	46,778	44,866	27,509	44,493	41,119	35,346	47,004	36,359	52,637	50,210	57,561	54,337	42,820	62,717	67,950	58,208	68,249

(4) 経営指標の推移 (2/9)

案 では、追加的な工事を実施(一部企業債充当)することから、案 と比較して、減価償却費及び支払利息が増加するため、経常費用が増加する見込みです(計画期間中:約2.5百万円/年)。また、追加工事の一部財源として国庫補助金を見込んでいるため長期前受金戻入が増加し、経常収益も増加する見込みです(計画期間中:約0.5百万円/年)。

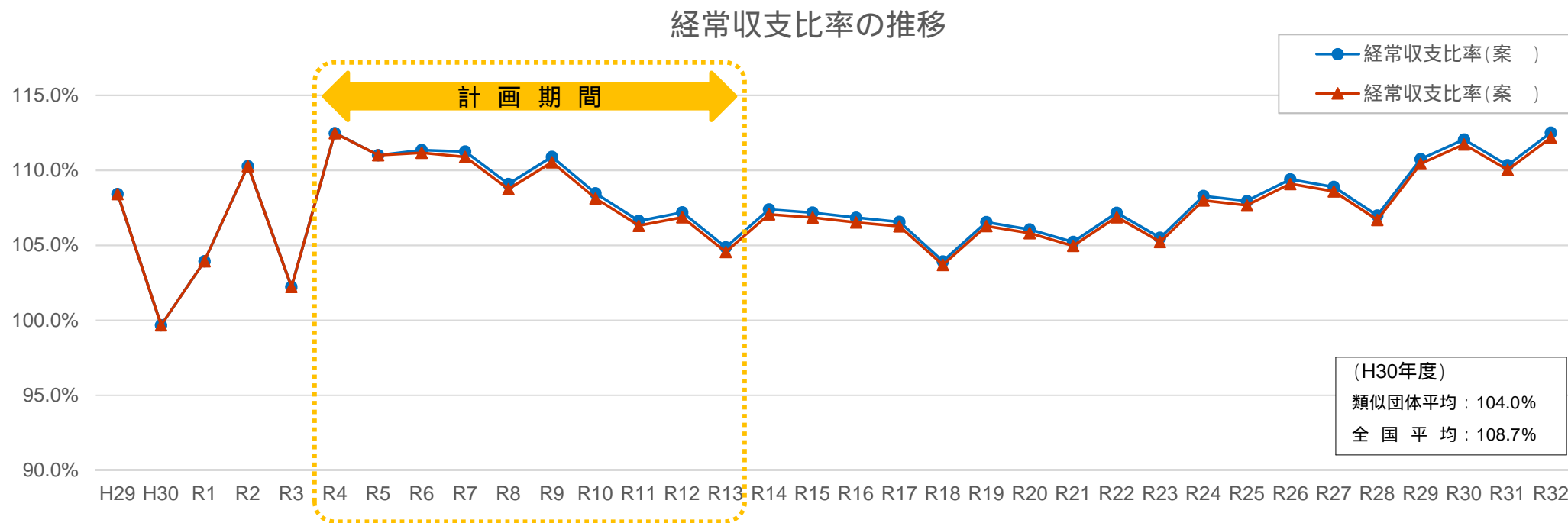


	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
経常収益(案)	765,627	717,553	739,547	740,505	747,115	743,207	742,542	741,985	741,130	739,822	739,144	738,706	738,307	737,848	735,925	732,461	731,256
経常費用(案)	706,123	719,916	711,529	671,406	730,768	660,688	668,856	667,377	668,291	680,305	668,629	683,127	694,457	690,388	703,796	684,090	684,308
経常損益	59,504	2,363	28,018	69,099	16,347	82,519	73,686	74,608	72,839	59,517	70,515	55,579	43,850	47,460	32,129	48,371	46,948
	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
経常収益(案)	729,747	728,588	726,735	724,370	719,522	711,926	703,517	696,466	687,425	681,330	669,942	665,391	655,729	646,236	631,812	620,871	613,701
経常費用(案)	684,975	685,557	700,851	681,487	679,997	678,181	658,201	661,818	636,482	632,798	614,042	612,698	614,535	585,129	565,454	564,236	547,009
経常損益	44,772	43,031	25,884	42,883	39,525	33,745	45,316	34,648	50,943	48,532	55,900	52,694	41,194	61,107	66,358	56,635	66,692

(4) 経営指標の推移 (3/9)

案、ともに、計画期間中においては、経常収益が緩やかに減少するのに対し、経常費用が一定で推移するため、経常収支比率は低下傾向に推移する見込みです。

R22年度以降は、経常収益の減少額に比べ、減価償却費の減少等に伴う経常費用の減少額が大きくなるため、経常収支比率は上昇傾向に推移する見込みです。

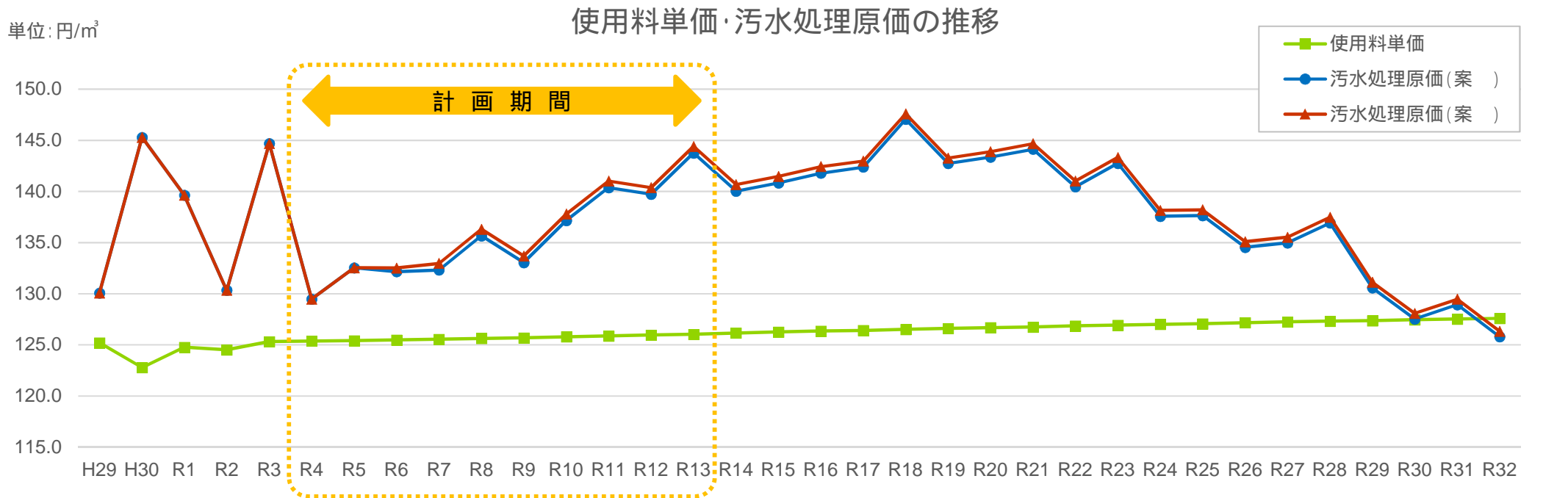


(単位：千円)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
経常収支比率(案)	108.4%	99.7%	103.9%	110.3%	102.2%	112.5%	111.0%	111.4%	111.3%	109.1%	110.9%	108.5%	106.6%	107.2%	104.9%	107.4%	107.2%
経常収支比率(案)	108.4%	99.7%	103.9%	110.3%	102.2%	112.5%	111.0%	111.2%	110.9%	108.7%	110.5%	108.1%	106.3%	106.9%	104.6%	107.1%	106.9%
収支差額(-)	-	-	-	-	-	-	-	1,059	2,117	2,103	2,089	2,075	2,060	2,062	2,051	2,034	2,020
	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
経常収支比率(案)	106.9%	106.6%	103.9%	106.5%	106.1%	105.2%	107.2%	105.5%	108.3%	108.0%	109.4%	108.9%	107.0%	110.8%	112.1%	110.4%	112.5%
経常収支比率(案)	106.5%	106.3%	103.7%	106.3%	105.8%	105.0%	106.9%	105.2%	108.0%	107.7%	109.1%	108.6%	106.7%	110.4%	111.7%	110.0%	112.2%
収支差額(-)	2,006	1,835	1,625	1,610	1,594	1,601	1,687	1,711	1,694	1,678	1,661	1,643	1,626	1,610	1,592	1,573	1,557

(4) 経営指標の推移 (4/9)

使用料単価は、単価の低い家事用の収入割合が減少し、単価の高い営業用、工業用の収入割合が増加することで、緩やかに上昇する見込みです。汚水処理原価は、固定的費用の構成割合が高いなか、有収水量が年々減少するため、R21年度までは上昇傾向に推移するものの、その後は、減価償却費が大きく減少を続けるため、低下傾向で推移する見込みです。



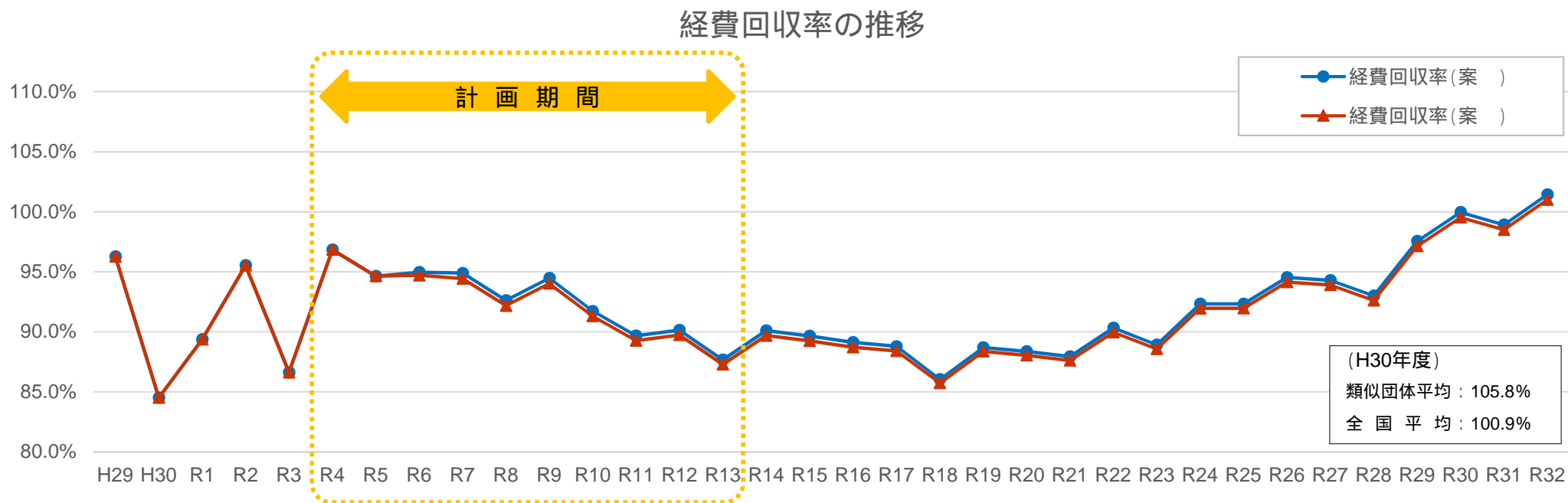
(単位: 円 / m³)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
使用料単価	125.2	122.8	124.8	124.5	125.3	125.4	125.4	125.5	125.6	125.6	125.7	125.8	125.9	126.0	126.0	126.2	126.3
汚水処理原価(案)	130.1	145.3	139.6	130.3	144.7	129.5	132.5	132.2	132.3	135.7	133.0	137.2	140.4	139.7	143.8	140.0	140.8
汚水処理原価(案)	130.1	145.3	139.6	130.3	144.7	129.5	132.5	132.5	133.0	136.3	133.7	137.8	141.0	140.4	144.4	140.7	141.5
	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
使用料単価	126.4	126.4	126.5	126.6	126.7	126.8	126.9	126.9	127.0	127.1	127.2	127.3	127.3	127.4	127.5	127.5	127.6
汚水処理原価(案)	141.8	142.4	147.1	142.7	143.4	144.1	140.5	142.7	137.6	137.6	134.5	135.0	136.9	130.6	127.5	128.9	125.8
汚水処理原価(案)	142.4	143.0	147.6	143.3	143.9	144.7	141.0	143.3	138.1	138.2	135.1	135.5	137.5	131.1	128.1	129.5	126.3

(4) 経営指標の推移 (5/9)

経費回収率は、計画期間中においては、使用料単価の上昇に比べ汚水処理原価の上昇が大きいいため、低下傾向に推移する見込みです。

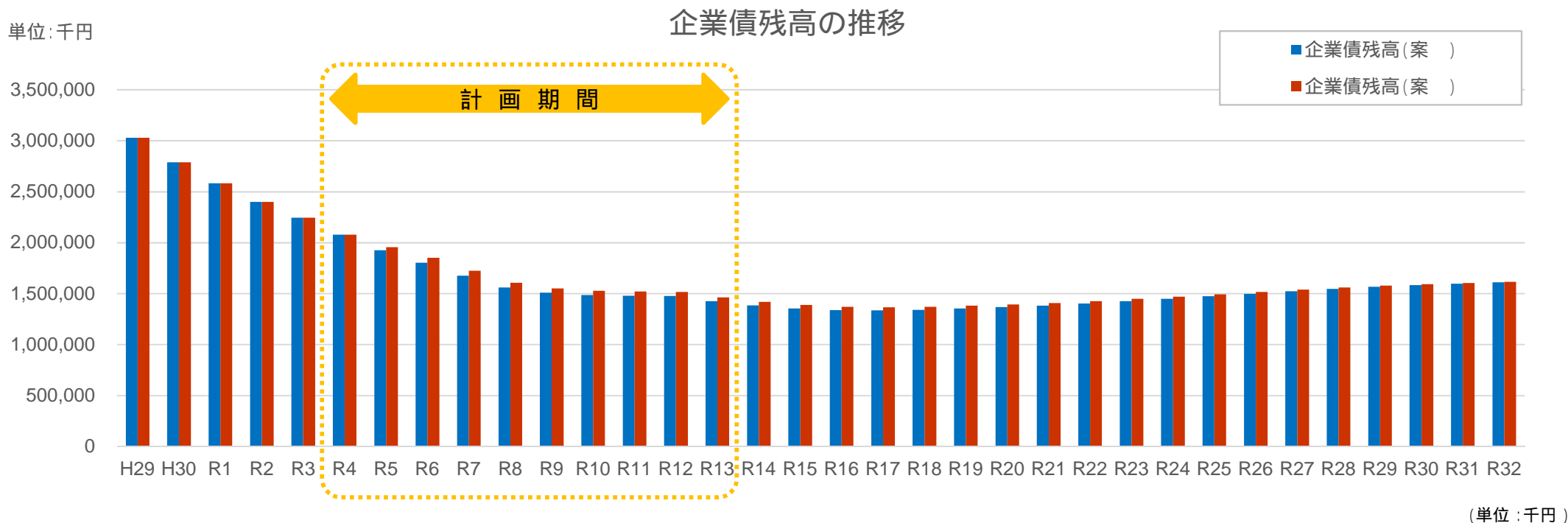
R22年度以降は、経費回収率が上昇傾向に転じ、R32年度には100%を超える水準となる見込みです。



	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
経費回収率(案)	96.3%	84.5%	89.4%	95.5%	86.6%	96.8%	94.6%	95.0%	94.9%	92.6%	94.5%	91.7%	89.7%	90.1%	87.7%	90.1%	89.6%
経費回収率(案)	96.3%	84.5%	89.4%	95.5%	86.6%	96.8%	94.6%	94.7%	94.4%	92.2%	94.0%	91.3%	89.3%	89.7%	87.3%	89.7%	89.2%
	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
経費回収率(案)	89.1%	88.8%	86.0%	88.7%	88.4%	87.9%	90.3%	88.9%	92.3%	92.3%	94.5%	94.3%	93.0%	97.5%	99.9%	98.9%	101.4%
経費回収率(案)	88.7%	88.4%	85.7%	88.4%	88.0%	87.6%	90.0%	88.6%	91.9%	91.9%	94.1%	93.9%	92.6%	97.1%	99.5%	98.5%	101.0%

(4) 経営指標の推移 (6/9)

ピーク時(H15年度)には50億円超あった企業債残高は、H29年度には約30億円、R13年度には約14億円、R17年度には約13億円まで減少する見込みです。これは、集中整備期間に対応する企業債の償還が年々進むことによるものです。その後、令和18年度以降は、投資計画に基づき実施する管更生工事の一部財源として企業債を充当するため、緩やかに増加していく見込みです。



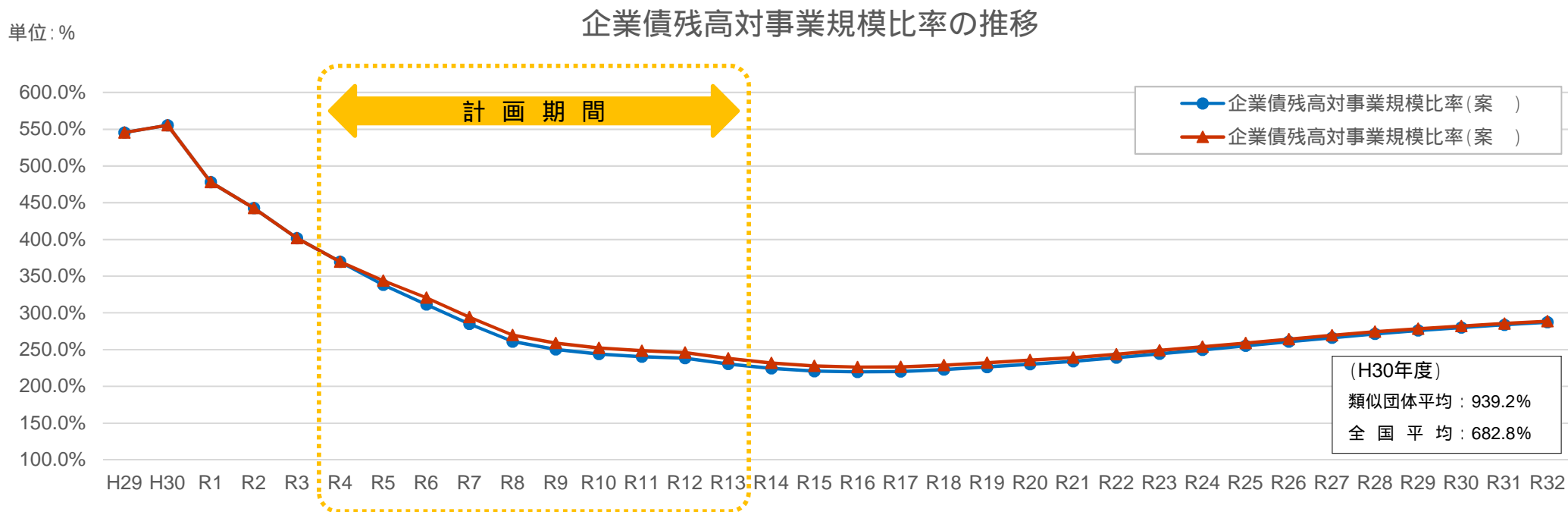
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
企業債残高(案)	3,028,594	2,788,064	2,581,569	2,400,389	2,244,148	2,078,843	1,926,120	1,804,118	1,677,367	1,560,863	1,508,953	1,485,812	1,480,017	1,478,483	1,426,211	1,384,097	1,353,858
企業債残高(案)	3,028,594	2,788,064	2,581,569	2,400,389	2,244,148	2,078,843	1,954,920	1,851,891	1,723,735	1,605,812	1,552,469	1,527,880	1,520,623	1,517,612	1,463,849	1,420,229	1,388,469
差額(-)	-	-	-	-	-	-	28,800	47,773	46,368	44,949	43,516	42,068	40,606	39,129	37,638	36,132	34,611
	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
企業債残高(案)	1,338,874	1,335,798	1,341,873	1,353,725	1,367,967	1,383,466	1,403,374	1,426,800	1,450,432	1,474,764	1,499,230	1,523,822	1,547,920	1,567,320	1,582,831	1,597,626	1,610,536
企業債残高(案)	1,371,948	1,367,320	1,371,827	1,382,096	1,394,739	1,408,622	1,426,899	1,448,677	1,470,644	1,493,295	1,516,063	1,538,940	1,561,306	1,578,956	1,592,700	1,605,710	1,616,817
差額(-)	33,074	31,522	29,954	28,371	26,772	25,156	23,525	21,877	20,212	18,531	16,833	15,118	13,386	11,636	9,869	8,084	6,281

(単位:千円)

(4) 経営指標の推移 (7/9)

企業債残高対事業規模比率は、H30年度の555.4%から年々低下傾向に推移し、R13年度には230%台まで低下する見込みです。これは、使用料収入の減少に伴い事業規模は縮小傾向にあるものの、それ以上に企業債残高が年々減少するためです。

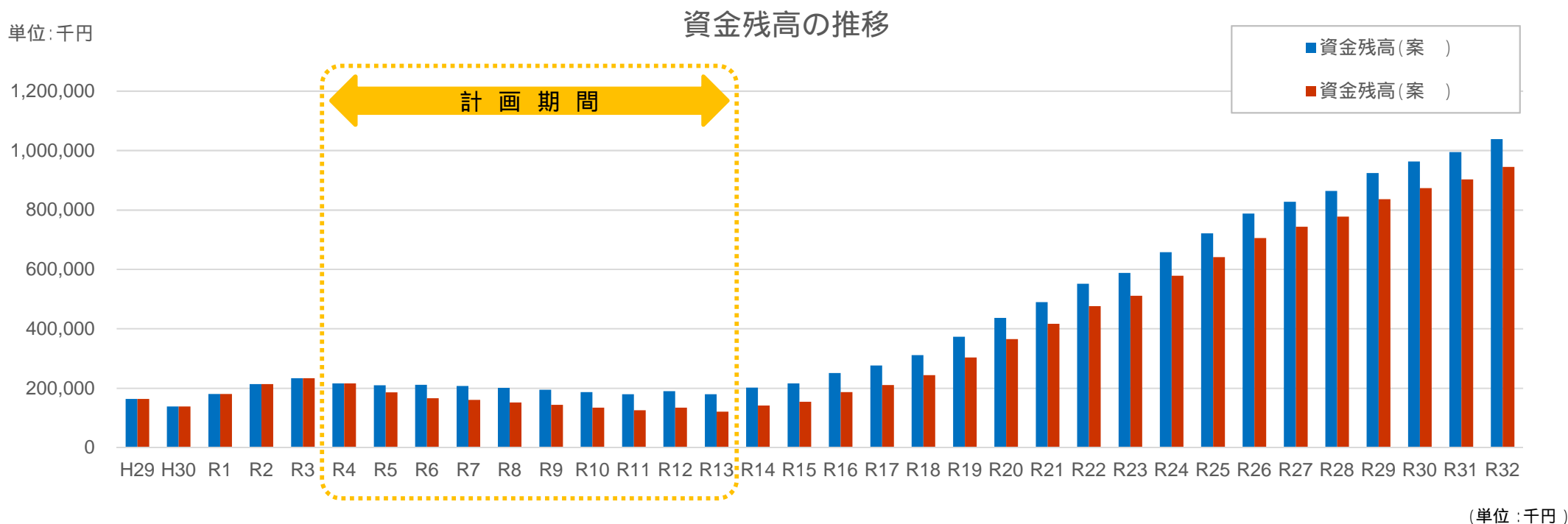
その後、R18年度以降は、企業債残高が増加傾向となるため、比率は上昇傾向で推移する見込みです。



	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
対事業規模比率(案)	545.4%	555.4%	478.0%	442.6%	401.7%	369.6%	338.1%	311.5%	285.1%	261.0%	250.3%	244.0%	240.5%	238.3%	230.5%	224.6%	220.7%
対事業規模比率(案)	545.4%	555.4%	478.0%	442.6%	401.7%	369.6%	343.7%	320.8%	294.1%	269.8%	258.8%	252.3%	248.5%	246.0%	238.0%	231.9%	227.7%
	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
対事業規模比率(案)	219.7%	220.3%	222.8%	226.4%	230.2%	234.1%	239.0%	244.4%	249.8%	255.2%	260.8%	266.3%	271.6%	276.0%	280.1%	283.8%	287.2%
対事業規模比率(案)	226.4%	226.6%	228.9%	232.1%	235.6%	239.2%	243.8%	248.9%	253.9%	259.0%	264.2%	269.4%	274.3%	278.4%	282.1%	285.5%	288.5%

(4) 経営指標の推移 (8/9)

資金残高は、計画期間中においては、減少傾向に推移するものの、R14年度以降は増加傾向に転じる見込みとなっており、その結果、R32年度末には、案 で1,038,786千円、案 で944,969千円まで増加する見込みです。



	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
資金残高(案)	164,037	138,443	181,102	213,744	233,655	216,775	210,138	211,335	207,552	201,064	195,086	186,961	180,043	190,634	179,588	202,058	216,447
資金残高(案)	164,037	138,443	181,102	213,744	233,655	216,775	186,438	166,375	160,714	152,347	144,490	134,486	125,689	134,400	121,475	142,067	154,577
差額(-)	-	-	-	-	-	-	23,700	44,960	46,838	48,717	50,596	52,475	54,354	56,234	58,113	59,991	61,870
	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
資金残高(案)	250,983	276,514	311,729	373,279	436,524	489,842	551,685	587,894	657,576	721,634	787,729	827,676	864,113	924,689	963,398	994,779	1,038,786
資金残高(案)	187,233	210,885	244,221	303,892	365,258	416,696	476,661	510,991	578,793	640,972	705,188	743,256	777,814	836,510	873,340	902,842	944,969
差額(-)	63,750	65,629	67,508	69,387	71,266	73,146	75,024	76,903	78,783	80,662	82,541	84,420	86,299	88,179	90,058	91,937	93,817

(4) 経営指標の推移 (9/9)

中長期的な各経営指標の推移は以下のとおりです。

経営指標の推移比較

項目	R1 (現在)	R4 (計画期間)	R13 (計画期間)	R32 (長期)	算式・用語説明
経常収支比率 (%)	103.9	112.5	104.9 (104.6)	112.5 (112.2)	算式: 経常収益 ÷ 経常費用 × 100 使用料収入、一般会計繰入金等の収益で、経常的な費用がどの程度賄われているかを示す指標
汚水処理原価 (円 / m ³)	139.6	129.5	143.8 (144.4)	125.8 (126.3)	算式: 汚水処理費(公費負担分を除く) ÷ 年間有収水量 有収水量1 m ³ 当たりどれくらいの経費が汚水処理費用に要するかを表す指標。低い方がよい。
経費回収率 (%)	89.4	96.8	87.7 (87.3)	101.4 (101.0)	算式: 下水道使用料 ÷ 汚水処理費(公費負担分を除く) × 100 汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を表す指標。汚水処理に係る全ての費用を使用料によって賄うことが原則。
企業債残高 (千円)	2,581,569	2,078,843	1,426,211 (1,463,849)	1,610,536 (1,616,817)	各年度末時点における企業債残高。 将来世代に負担を残さないためにも、一定の水準に抑える必要がある。
企業債残高対 事業規模比率 (%)	478.0	369.6	230.5 (238.0)	287.2 (288.5)	算式: 企業債残高(一般会計負担分を除く) ÷ 事業の規模(雨水処理負担金を除く) × 100 事業規模に比べて企業債残高(一般会計負担分を除く)がどれくらいあるのかを見る指標。
資金残高 (千円)	181,102	216,775	179,588 (121,475)	1,038,786 (944,969)	各年度末時点における資金残高。 運転資金として一定の資金を確保する必要がある。

R13、R32の上段の数値は案、下段のかっこ書きの数値は案 の数値

3 負担のあり方について

(1) 下水道の役割

下水道の役割は、公益性が高く、受益者は下水道使用者に限定されない側面があります。そのため、下水道事業に係る経費について、使用料でどこまでを賄うべきか(公費負担をどこまですべきか)検討する必要があります。

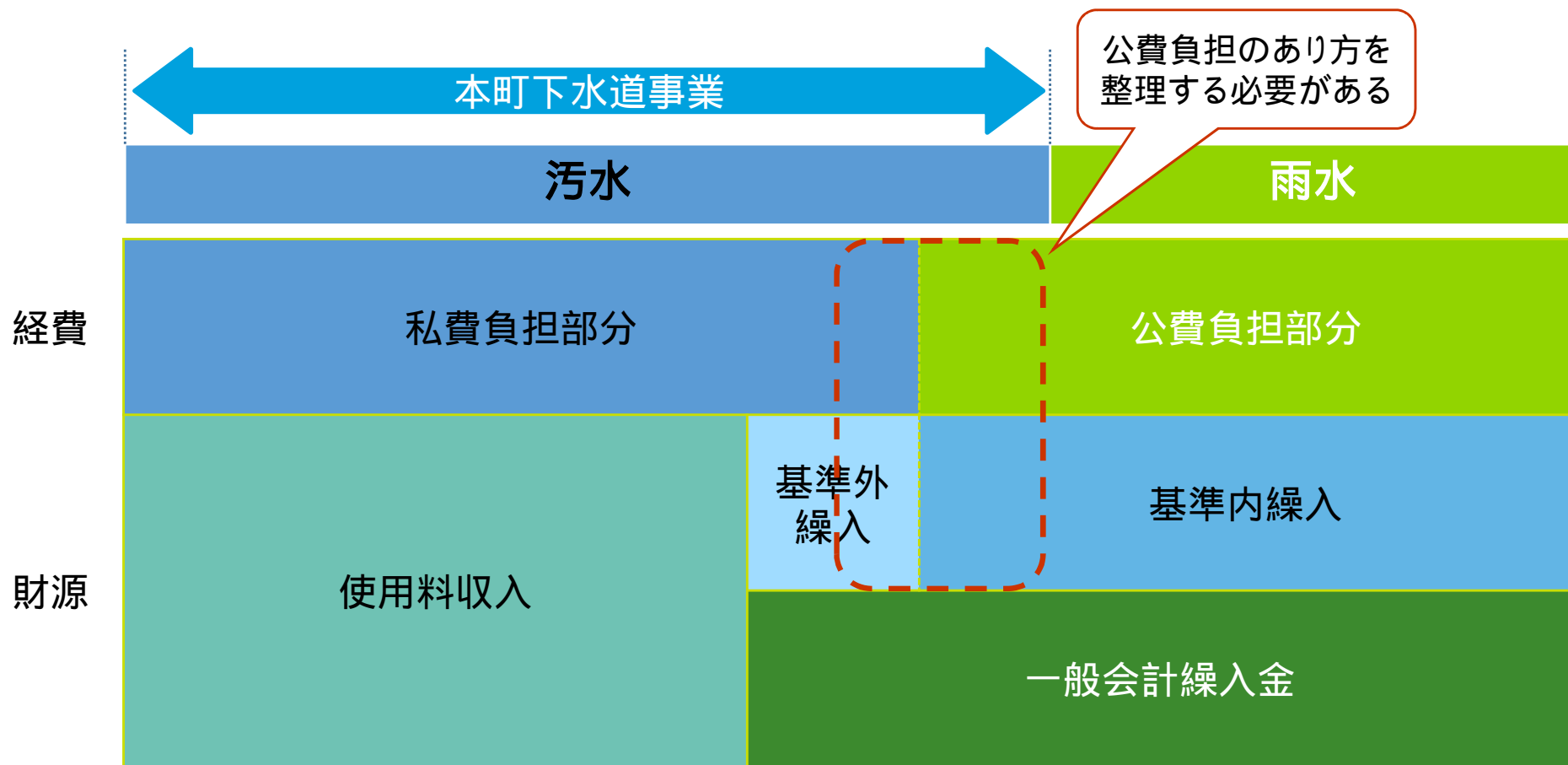
下水道の役割とその受益者の関係

汚水処理	公衆衛生の向上	生活や生産活動に伴って発生する汚水が速やかに排除されず、住宅周辺に停滞していると、蚊や蠅などの害虫や悪臭の発生源となり、周辺環境を悪化させます。下水道を整備し、汚水を速やかに排除することにより、公衆衛生の向上が図られます。	その便益は不特定多数に及ぶ 使用者 受益者
	生活環境の改善	下水道が整備されるとトイレの水洗化が可能となり、家の中の悪臭が抑制されるなど、衛生的で快適な生活が送れます。	下水道使用者が当該便益を享受 使用者 = 受益者
	公共用水域の水質保全	下水道は、汚水を収集、運搬、処理することから、河川などの公共用水域の水質汚濁の防止に積極的な役割を果たし、公共用水域の水質保全が図られます。	その便益は不特定多数に及ぶ 使用者 受益者
雨水処理	浸水防除	下水道は、降った雨を集めて河川や海へ排除する役割を担っています。浸水被害の防除は、住民の生命と財産を守るのと同時に、交通等の都市機能確保の観点からも、必要不可欠です。	その便益は不特定多数に及ぶ 全住民等が受益者

(2) 下水道事業における経費の負担区分

下水道事業における経費の負担区分は、「雨水公費・污水私費」が原則ですが、汚水処理に要する経費のうち、公益性の認められる一部の経費等については、総務省の繰出基準で、公費負担の対象とされています。

しかしながら、下水道の役割とその受益者の関係を踏まえると、基準内繰入だけでは不十分な場合があるため、公費負担のあり方について、本町の方針を整理する必要があると考えます。



注：総務省総務副大臣通知「地方公営企業繰出金について」に示された基準に基づく一般会計繰入金を「基準内繰入」、それ以外を「基準外繰入」という。

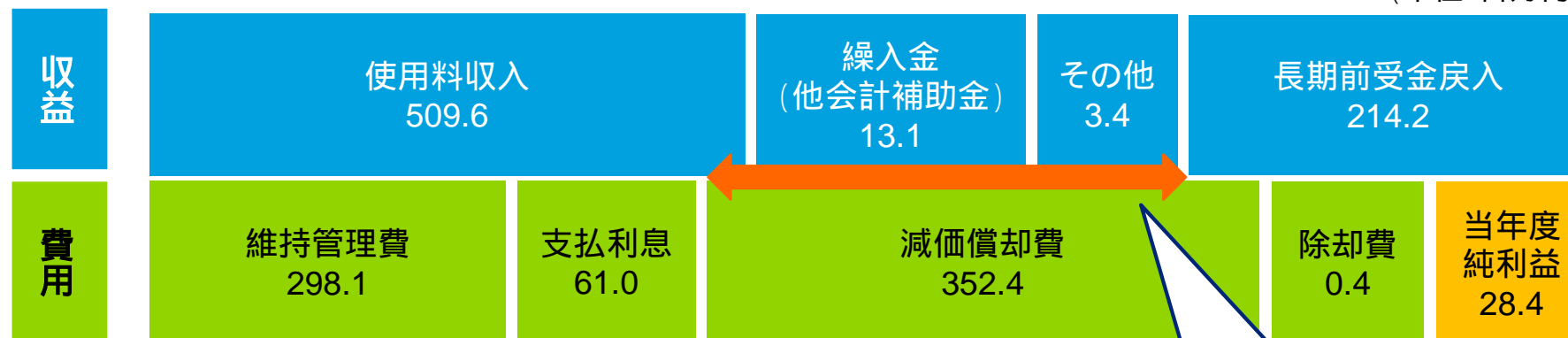
(出所：日本下水道協会「下水道使用料算定の基本的な考え方2016年度版」を参考に一部加工)

(3) 本町下水道事業の状況(令和元年度)

本町下水道事業では、現在、単年度の資金不足額について、一般会計からの基準外繰入金(公費負担)で賄っています。

【収益的収支(税抜)】

(単位:百万円)



消費税等資本的収支調整額
(補填財源) = 7.7

収益的収支の資金増加額
(補填財源) = 167.0

【資本的収支(税込)】

繰出基準に基づかない
独自の公費負担分



(4) 公費負担の内訳(令和元年度実績)

分類	項目	趣旨	基準内 (千円)	基準外 (千円)
収益勘定繰入金	流域下水道の建設に要する経費 (利息部分)	広域的な水質保全を図る観点から流域下水道の整備を推進するため、建設改良費の一部について繰り出すための経費 なお、臨時的な措置として、建設負担金に対して臨時的に発行する下水道事業債の支払利息相当額が繰り出される。	1,558	0
	下水道に排除される下水の規制に関する事務に要する経費	公共用水域の水質保全に資するために行う下水道に排除される下水の規制に関する事務に要する経費について繰り出すための経費	1,208	0
	水洗便所に係る改造命令等に関する事務に要する経費	水洗便所に係る改造命令等に関する事務に要する経費の一部について繰り出すための経費	1,409	0
	高度処理に要する経費	下水の高度処理に要する経費の一部について繰り出すための経費	5,689	829
	地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費	地方公営企業職員に係る児童手当法に規定する児童手当の給付に要する経費の一部について繰り出すための経費	284	0
	臨時財政特例債の償還に要する経費 (利息部分)	臨時財政特例債の支払利息相当額について繰り出すための経費	2,121	0
資本勘定繰入金	流域下水道の建設に要する経費 (元金部分)	広域的な水質保全を図る観点から流域下水道の整備を推進するため、建設改良費の一部について繰り出すための経費 なお、臨時的な措置として、建設負担金に対して臨時的に発行する下水道事業債の元金償還額が繰り出される。	4,911	0
	臨時財政特例債の償還に要する経費 (元金部分)	臨時財政特例債の元金償還額について繰り出すための経費	18,132	0
	一般会計からの出資金	単年度の資金不足額について、一般会計から補填しているもの	0	161,502